

平成25年度事業報告書

公益財団法人 長崎県健康事業団

目 次

1 平成25年度健康診断等の実施状況総括表	1
2 特定健康診査の実施状況	2
3 事業所健診の実施状況	3
4 結核健康診断の実施状況	4
5 原爆被爆者健康診断の実施状況	4
6 学校健診の実施状況	5
7 胃がん検診の実施状況	5
8 子宮がん検診の実施状況	6
9 乳がん検診の実施状況	6
10 肺がん検診の実施状況	7
11 大腸がん検診の実施状況	8
12 骨粗鬆症予防検診の実施状況	8
13 腹部超音波検査の実施状況	9
14 VDT健康診断の実施状況	9
15 病理診断検査の実施状況	10
16 先天性代謝異常検査の実施状況	11
17 検体受託検査の実施状況	11
18 複十字シール運動	12
19 がん征圧推進運動	12
20 週間及び月間運動の実施	13
21 媒体による広報活動	13
22 教育資材の貸出	13
23 図書の斡旋	13
24 長崎県救急医療情報センター運営事業	
(1)長崎県救急医療情報システム運営事業	14
(2)救急搬送事後検証票解析事業	14
(3)その他の救急医療関係	15
25 長崎県腎臓バンク運営事業	
(1)一般への普及啓発(腎不全対策確立事業)	16
(2)病院への普及啓発(腎不全治療対策推進事業)	17
(3)腎登録助成事業	19
(4)腎臓移植関係統計資料	20

1 平成25年度健康診断等の実施状況総括表

平成25年度は、下記のとおり各種健康診断等を実施した。

住民健診は、受託市町は前年度同様であったが、特定健康診査受診数は若干の減少となった。しかし、事業所健診については、大手企業の受託があったことから大幅な増加となった。

健診・検査合計で、延 517,363人となり、前年比 4,321 人の増、0.8 %の伸びとなった。

区 分	平成25年度 (人)	平成24年度 (人)	対前年度増減 (人)	伸び率
特定健康診査	47,603	48,432	△ 829	98.3%
事業所健診	87,262	80,099	7,163	108.9%
結核健康診断	136,517	137,521	△ 1,004	99.3%
原爆被爆者健康診断(一般)	5,529	5,944	△ 415	93.0%
学校健診(生徒)	54,697	54,342	355	100.7%
胃がん検診	29,071	29,146	△ 75	99.7%
子宮がん検診	17,995	17,943	52	100.3%
乳がん検診	18,795	18,820	△ 25	99.9%
肺がん検診	44,136	45,087	△ 951	97.9%
大腸がん検診(大腸検診含む)	38,934	37,412	1,522	104.1%
骨粗鬆症予防検診	2,243	3,265	△ 1,022	68.7%
腹部超音波検査	7,059	7,229	△ 170	97.6%
VDT健康診断	6,554	6,573	△ 19	99.7%
健診小計	496,395	491,813	4,582	100.9%
病理診断検査	5,300	5,313	△ 13	99.8%
先天性代謝異常検査	12,919	12,926	△ 7	99.9%
検体受託検査	2,749	2,990	△ 241	91.9%
検査小計	20,968	21,229	△ 261	98.8%
総合計(延数)	517,363	513,042	4,321	100.8%

2 特定健康診査等の実施状況

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査は、37,786人、後期高齢者は、8,283人、その他(若年者等)1,534人の合計47,603人を実施した。前年比829人の減、1.7%の減少となった。

なお、肝炎ウイルス検査3,601人、前立腺がん検診8,748人も併せて実施した。

区 分	特定健診 (社保の被扶養者含)	後期高齢者	その他	計	肝炎ウイルス検査	前立腺がん検診
市町村数	18	-	-	-	17	13
25年度(A)	37,786	8,283	1,534	47,603	3,601	8,748
24年度(B)	38,811	8,194	1,427	48,432	4,239	8,939
伸率A/B	97.4%	101.1%	107.5%	98.3%	84.9%	97.9%

※その他は若年者、生活保護者の合計数。

3 事業所健診の実施状況

事業所健診は、定期(一般)健康診断と特殊健康診断について下記のとおり実施した。

事業所数の増加により、前年比 7,163人の増、8.9 %の伸びとなった。

区 分	一 般 健 康 診 断			区 分	特 殊 健 康 診 断		
	25年度 (A)	24年度 (B)	伸率 A/B		25年度 (A)	24年度 (B)	伸率 A/B
箇所数	1,065	1,050	—	じん肺(肺機能含)	1,995	2,263	88.2%
定期	87,262	80,099	108.9%	有機溶剤	2,500	2,630	95.1%
聴打診	70,388	61,568	114.3%	鉛	78	73	106.8%
身体測定	79,089	72,478	109.1%	特定化学物質	1,767	709	249.2%
聴力検査	71,459	66,438	107.6%	電離放射線	1,453	572	254.0%
血圧測定	77,563	70,444	110.1%	運転業務	10	7	142.9%
尿検査	74,665	66,850	111.7%	高気圧	114	50	228.0%
貧血検査	56,416	52,853	106.7%	石綿	1,692	1,929	87.7%
肝機能検査	55,011	51,437	106.9%	赤紫外線	2,352	2,931	80.2%
血中脂質検査	56,200	52,586	106.9%	騒音	398	280	142.1%
心電図検査	44,703	41,248	108.4%	引金	811	672	120.7%
				レーザー	1	0	—

※平成24年度より特定化学物質(エチルベンゼン) 実施

※平成25年度より特定化学物質(コバルト) 実施

4 結核健康診断の実施状況

結核検診は、一般住民、事業所、施設、学校(生徒)を合計 136,517人実施し、前年比 1,004 人の減、0.7%の減少となった。

区 分	住民	事業所	施設	学校(生徒)	計
箇所数	20	1,084	43	119	—
25年度(A)	41,271	70,644	3,965	20,637	136,517
24年度(B)	42,044	69,787	4,076	21,614	137,521
伸率A/B	98.2%	101.2%	97.3%	95.5%	99.3%
要精検者(C)	1,458	1,066	223	110	2,857
同率C/A	3.5%	1.5%	5.6%	0.5%	2.1%

5 原爆被爆者健康診断の実施状況

長崎県より委託された原爆被爆者健康診断の年2回の対象者は13市町で24,977人だが、実施人員は 5,529 人で、前年比 415 人の減、7.0 %の減少となった。

なお、肝機能検査 5,525 人、多発性骨髄腫検査 2,775 人を実施した。

区 分	一般	肝機能	多発性骨髄腫
対象者(A)	24,977	—	—
25年度(B)	5,529	5,525	2,775
24年度(C)	5,944	5,942	2,949
伸率B/C	93.0%	93.0%	94.1%
実施率B/A	22.1%	—	—
要精検者	530		22

※ 対象者は、原爆被爆者援護課の資料による。

6 学校健診の実施状況

学校健診(児童・生徒)は、尿検査、寄生虫卵検査、心電図検査、貧血検査を、
合計 54,697 人実施し、前年比 355 人の増、0.7 %の伸びとなった。

区 分	尿検査	寄生虫	心電図	貧血	計
学校数	230	140	227	24	—
25年度(A)	32,153	7,013	13,047	2,484	54,697
24年度(B)	32,786	6,923	12,764	1,869	54,342
伸率A/B	98.1%	101.3%	102.2%	132.9%	100.7%

7 胃がん検診の実施状況

胃がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所を、合計 29,071 人実施した。
前年比 75 人の減、0.3 %の減少となった。

また、胃がん検診(撮影のみ)一般住民、事業所を、合計 2,906人を実施した。
前年比 235 人の減、7.5 %の減少となった。

区 分	住民	原爆被爆者	事業所	計
箇所数	19	6	187	—
25年度(A)	16,455	22	12,594	29,071
24年度(B)	17,224	34	11,888	29,146
伸率A/B	95.5%	64.7%	105.9%	99.7%
要精検者(C)	1,162	0	661	1,823
同率C/A	7.1%	0.0%	5.2%	6.3%

※胃がん検診(撮影のみ)

区 分	住民・事業所
箇所数	—
25年度(A)	2,906
24年度(B)	3,141
伸率A/B	92.5%

8 子宮がん検診の実施状況

子宮頸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所を、合計 17,995 人実施し、前年比 52 人の増、0.3 %の伸びとなった。

区 分	子 宮 頸 部			
	住民	原爆被爆者	事業所	計
箇所数	21	7	35	—
25年度(A)	15,580	23	2,392	17,995
24年度(B)	14,992	28	2,923	17,943
伸率A/B	103.9%	82.1%	81.8%	100.3%
要精検者(C)	127	0	34	161
同率C/A	0.8%	—	1.4%	0.9%

9 乳がん検診の実施状況

乳がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所を、合計 18,795 人実施し、前年比 25 人の減、0.1 %の減少となった。

検査別として、視触診 11,443 人、MMG検査 17,290 人、乳腺超音波検査 7,606 人を実施した。

区 分	住民	原爆被爆者	事業所	計
箇所数	21	7	34	—
25年度(A)	16,745	26	2,024	18,795
(視触診)	9,632	26	1,785	11,443
(MMG検査)	15,396	26	1,868	17,290
(エコー検査)	7,278	0	328	7,606
24年度(B)	15,963	27	2,830	18,820
伸率A/B	104.9%	96.3%	71.5%	99.9%
要精検者(C)	1,103	1	137	1,241
同率C/A	6.6%	3.8%	6.8%	6.6%

10 肺がん検診の実施状況

肺がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所を、合計 44,136 人実施し、前年比 951 人の減、2.1 %の減少となった。

なお、喀痰検査は、一般住民 1,326 人、原爆被爆者 60 人、事業所 773 人、合計 2,159 人を実施した。

区 分	X 線 検 査			
	住民	原爆被爆者	事業所	計
箇所数	20	13	26	—
25年度(A)	41,271	1,175	1,690	44,136
24年度(B)	42,044	1,302	1,741	45,087
伸率A/B	98.2%	90.2%	97.1%	97.9%
要精検者(C)	877	42	2	921
同率C/A	2.1%	3.6%	0.1%	2.1%

区 分	喀 痰 検 査			
	住民	原爆被爆者	事業所	計
箇所数	20	8	20	—
25年度(A)	1,326	60	773	2,159
24年度(B)	1,439	83	772	2,294
伸率A/B	92.1%	72.3%	100.1%	94.1%
要精検者(C)	0	1	0	1
同率C/A	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%

11 大腸がん検診の実施状況

大腸がん検診は、一般住民、原爆被爆者、事業所を、合計 38,373 人実施し、前年比 1,456 人の増、3.9 %の伸びとなった。

なお、大腸検診(一日法)は、事業所 561 人を実施した。

区 分	住民	原爆被爆者	事業所	計	大腸検診
箇所数	18	12	161	—	13
25年度(A)	25,019	780	12,574	38,373	561
24年度(B)	24,421	832	11,664	36,917	495
伸率A/B	102.4%	93.8%	107.8%	103.9%	113.3%
要精検者(C)	2,004	81	539	2,624	—
同率C/A	8.0%	10.4%	4.3%	6.8%	—

12 骨粗鬆症予防検診の実施状況

骨粗鬆症予防検診は、一般住民、事業所を、合計 2,243人を実施した。

前年比 1,022 人の減、31.3 %の減少となった。

区 分	住民	事業所	計
箇所数	13	2	—
25年度(A)	2,141	102	2,243
24年度(B)	3,122	143	3,265
伸率A/B	68.6%	71.3%	68.7%
骨粗鬆症の疑(C)	598	20	618
同率C/A	27.9%	19.6%	27.6%

13 腹部超音波検査の実施状況

腹部超音波検査(肝臓、膵臓、腎臓、脾臓、胆管、大動脈)は、一般住民、事業所を、
合計 7,059人実施した。前年比 170 人の減、2.4 %の減少となった。

区 分	住民	事業所	計
箇所数	6	21	—
25年度(A)	5,335	1,724	7,059
24年度(B)	5,478	1,751	7,229
伸率A/B	97.4%	98.5%	97.6%
病院紹介(C)	230	81	311
同率C/A	4.3%	4.7%	4.4%

14 VDT健康診断の実施状況

VDT健康診断は、VDT検査 3,576 人、問診のみ 2,978 人を実施し、
前年比 19 人の減 0.3 %の減少となった。

区分	VDT検査	問診のみ	計
箇所数	42	1	—
25年度(A)	3,576	2,978	6,554
24年度(B)	3,435	3,138	6,573
伸率A/B	104.1%	94.9%	99.7%
病院紹介(C)	35	—	—
同率C/A	1.0%	—	—

15 病理診断検査の実施状況

病理組織顕微鏡検査を次のとおり実施した。

区 分	試 験 切 除 材 料 検 査								
	胃	食道	子宮	乳房	小腸、大腸、直腸、肛	肝臓	肺	その他	計
25年度(A)	789	76	1,197	181	1,190	21	90	252	3,796
24年度(B)	924	55	1,071	204	1,179	44	60	370	3,907
伸率A/B	85.4%	138.2%	111.8%	88.7%	100.9%	47.7%	150.0%	68.1%	97.2%

- ※備考
- ・胃 : 十二指腸を含む。
 - ・子宮 : 頸管ポリープ、子宮内容物、子宮内膜を含む。
 - ・その他 : 皮膚、リンパ節、骨髄を含む。

区 分	手 術 切 除 材 料 検 査										
	胃	子宮	卵巣	卵管	乳房	小腸、大腸、直腸、肛	肺	虫垂	胆嚢	その他	計
25年度(A)	20	473	471	226	17	61	10	45	45	136	1,504
24年度(B)	23	413	356	197	32	93	13	56	71	152	1,406
伸率A/B	87.0%	114.5%	132.3%	114.7%	53.1%	65.6%	76.9%	80.4%	63.4%	89.5%	107.0%

- ※備考
- ・胃 : 十二指腸を含む。
 - ・子宮 : 筋腫を含む。
 - ・その他 : 甲状腺、食道を含む。

16 先天性代謝異常検査の実施状況

母子保健法による先天性代謝異常検査は、フェニールケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、ガラクトース血症、クレチン症、先天性副腎過形成症の6疾患となっているが、平成25年度4月よりタンデムマス検査の機器導入により対象疾患は従来の6疾患から19疾患に拡大し、新生児 12,919 人の検査を実施した。

区 分	先天性代謝異常検査
25年度(A)	12,919
24年度(B)	12,926
伸率A/B	99.9%
再検査依頼数(C)	350
再検査率C/A	2.7%
再検査実施数	355
精密検査数(D)	65
精検率D/A	0.5%

※再検査依頼数よりも実施数が多いのは前年度繰越分

17 検体受託検査の実施状況

他医療機関より委託を受け、婦人科材料・呼吸器材料などの細胞診検査を 2,749 人実施した。

区 分	婦人科	呼吸器	その他	計
25年度(A)	2,126	457	166	2,749
24年度(B)	2,150	648	192	2,990
伸率A/B	98.9%	70.5%	86.5%	91.9%

18 複十字シール運動

結核予防思想の普及のための複十字シール運動は、例年どおり組織募金と郵送募金の併用で実施し、組織募金は、県関係、市町、婦人会等を対象とし、郵送募金は医師会会員、民生委員をはじめ諸団体、事業所などの個人の方々より協力をしていただいた。

また、前年度同様、全国一斉複十字シール運動キャンペーンを婦人会、保健所等と共催し、街頭募金を実施して結核の周知を図った。

区 分		平成25年度	平成24年度
郵 送 募 金	件 数	206 件	283 件
	募金額	317,000 円	1,480,700 円
組 織 募 金	件 数	216 件	249 件
	募金額	1,600,572 円	1,657,409 円
合 計	件 数	422 件	532 件
	募金額	1,917,572 円	3,138,109 円

19 がん征圧推進運動

がん予防対策推進について理解と援助協力をいただく維持会員、特別会員を募集し、既会員を基盤として県関係、市町、医師会、事業所等へ呼びかけて協力をしていただいた。

この募金は、がん征圧推進のため広報活動等に要する費用として活用している。

区 分		平成25年度	平成24年度
維 持 会 員	件 数	157 件	132 件
	募金額	292,223 円	344,878 円
特 別 会 員	件 数	30 件	31 件
	募金額	415,736 円	690,510 円
合 計	件 数	187 件	163 件
	募金額	707,959 円	1,035,388 円

20 週間及び月間運動の実施

- 結核予防週間 9月24日～9月30日(1週間)
県、保健所、市町、婦人会等と共催して県内各地で街頭キャンペーンを開催し、複十字シール・シールぼうやボールペン等を県民に手渡して結核予防思想の普及を図った。
- がん征圧月間 9月1日～9月30日(1ヵ月間)
県、医療機関、市町等へ征圧月間ポスター及びがん予防ポスターを配布した。
「ピンクリボンフェスタ」に協賛して、ハウステンボス(佐世保市)でマンモグラフィ無料検診(17名)を実施した。またピンクリボン号(バス)の運行にあたり、1年間広告協賛した。

21 媒体による広報活動

がん予防対策推進に理解と援助協力をいただいた特別会員、維持会員等へ対がん協会報(毎月号、増刊号)を配布している。また、県、市町、事業所等が行う健康まつり及び検診実施時、キャンペーン等に、パンフレットやリーフレットを配布した。

配 布 資 料	配 付 先	配 付 数
対がん協会報	特別会員・維持会員・県・市町等	年間 3,640 部
がん検診 がんに負けない社会をつくる	県・市町・事業所・街頭	年間 3,000 部
乳がんのセルフチェック	県・市町・事業所・街頭	年間 3,000 部
計		年間 9,640 部

22 教育資材の貸出

結核・乳がんに関する健康教育のため、啓発パネルや乳がんモデル・DVD(乳がん あなたは大丈夫?、まさか私が乳がん?)の無料貸出を行い、結核・がん予防の普及に努めた。

23 図書の斡旋

結核予防会等発行の図書(結核?! でも心配しないで、保健師・看護師展望他)を県、市町、医師会等へ紹介し、734部を斡旋した。

24 長崎県救急医療情報センター運営事業

(1) 長崎県救急医療情報システム運営事業

長崎県より委託を受け、救急患者の医療の確保に不可欠な救急医療情報システムの管理運営を行った。

① 医療機関が情報の入力を行った回数

区 分	平成25年度	平成24年度
合計	18,451 回	19,152 回
月平均回数	1,538 回	1,596 回

② 消防機関及び医療機関等が情報の検索を行った回数

区 分	平成25年度	平成24年度
消防機関	8,767 回	9,215 回
医療機関	91,918 回	95,620 回
その他(保健所等)	2,253 回	1,048 回
合計	102,938 回	105,883 回

③ ホームページにより在宅当番医情報検索を行った件数

区 分	平成25年度	平成24年度
パソコンによる検索	42,051 件	39,350 件
携帯電話による検索	4,513 件	15,650 件
合計	46,564 件	55,000 件

(2) 救急搬送事後検証票解析事業

救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行った。

区 分	平成25年度	平成24年度
データ入力件数	32,582 件	29,199 件

(3) その他救急医療関係

① ACLSシステム(2台)の医師会への貸与

平成25年度使用実績

講習会 12回

参加人数 127名

② AED(自動体外式除細動器:23台)の医師会への貸与

平成25年度使用実績

講習会 29回

参加人数 1,428名

③ 未熟児搬送用保育器(下記医療機関各1台)の貸与

平成25年度使用実績

国立病院機構長崎医療センター 8回

長崎みなとメディカルセンター 5回

④ 救急医療機関案内電話(ハイキュウキュウ)

長崎市消防局 8,193回 佐世保市消防局 6,373回

平戸市消防本部 47回 島原消防本部 548回

県央消防本部 703回 松浦市消防本部 39回

25 長崎県腎臓バンク運営事業

(1)一般への普及啓発(腎不全対策確立事業)

慢性腎不全対策に関する基礎資料の整備及び広報・キャンペーンを行った。

①動態統計等、基礎資料の整備

長崎県腎不全対策協会に委託して、透析患者と透析施設の動態統計を整備した。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1.人工透析患者数 | 4,052名(前年比107名増) |
| うち腹膜透析者数 | 142名(前年比26名減) |
| 2.人工透析施設数 | 65施設(前年比増減なし) |
| うち夜間透析可能施設 | 25施設(前年比増減なし) |
| 3.人工透析台数 | 1,656台(前年比10台増) |
| うち多人数用 | 1,489台(前年比18台増) |
| うち個人用 | 167台(前年比8台減) |
| 4.腎臓移植希望登録者数 | 144名(前年比4名減) |

② 広報活動の推進

1.街頭キャンペーン等による広報

- ・長崎市浜の町アーケード他合計県内7ヵ所において長崎県腎不全対策協会及び長崎県腎臓病患者連絡協議会等の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。
- ・キャンペーン用にポケットティッシュ(10,000個)を作成し、臓器提供意思表示カード等と一緒に配布した。
- ・移植医療について(臓器移植について・臓器提供のながれ・脳死の説明・臓器のはたらき等)一般の方を対象にした展示用パネルを作成し、長崎市浜の町アーケードの街頭キャンペーン時にパネル展示・説明を行った。
- ・長崎市浜の町アーケードの街頭キャンペーン時に「移植をうけた子供たちの絵画」の展示を行った。
- ・「健康バンザイ!がんばらんばキャンペーン」(主催:長崎県、長崎市、長崎県国保連合会、協会けんぽ等)に参加し、臓器移植コーナーを設置し、パネル展示、意思表示カード等の配布を行った。

2.臓器移植推進月間(10月)において、以下のことを実施した。

- ・長崎県庁舎時計塔にグリーンリボン懸垂幕を掲出し、夜間にはグリーン色にライトアップを実施した。

- ・国重要文化財の長崎市眼鏡橋においてグリーンライトアップを実施し、初日には、グリーン点灯式を実施した。
- ・ポスター400枚を作成し、公共交通機関に掲示した。
(掲示:JR九州、長崎電気軌道、長崎バス、長崎県営バス、西肥バス)
- ・JR長崎駅かもめ広場に特大ポスターを掲示した。
- ・長崎県内21市町へ広報だより10月号に臓器移植普及月間についての原稿提供と記載依頼を行った。

3.年間を通じ、県南地区を走行している長崎バス、県北地区を走行している西肥バスにおいて、ラッピングバス「グリーンリボン号」を運行した。

4.病院祭り(健康フェスタ等)に参加し、臓器移植に関するパネル等の展示、臓器提供意思表示カード等を配布し、臓器提供の意思表示についての普及啓発を行った。

- ・長崎県島原病院
- ・長崎医療センター

5.臓器移植の出前講座の開催

- ・諫早医師会立県央看護学校
- ・平戸市立生月中学校

6.市町や保健所、警察署、病院、各大学など従来からの設置箇所へ定期的配布を行った。

- ・臓器提供意思表示カード付リーフレット 43, 908枚

7.1月の成人式に臓器提供意思表示カード等を配布した。(県内21市町中17市町 5, 610枚)

8.長崎県健康事業団のホームページ内の長崎県腎臓バンクのホームページに、長崎県内の透析患者数・腎臓移植者数等の動態統計データを更新した。

③腎不全患者社会復帰事業

人工透析施設および人工透析患者に対して講演会等を行った。

- ・「臓器提供・移植の現状」 新里クリニック

(2)病院への普及啓発(腎不全治療対策推進事業)

腎臓移植のための組織的協力体制を整備する事業を行った。

①平成15年度より腎臓移植推進協力病院、県、腎臓移植病院、社団法人日本臓器移植ネットワークなどの関係機関と共に「長崎県移植情報担当者協議会」を組織し運営を行った。

- 1.長崎県腎臓移植推進協力病院会議を開催した。(2回)
- 2.長崎県下脳死下臓器提供施設対象に「長崎県脳死下臓器提供に関する懇話会」を開催した。(初開催)

3.腎臓移植推進協力病院において、関係者(医師、看護師、臨床検査技師等)に対して院内説明会・症例報告会・法的脳死判定シミュレーション等を行った。

5病院 24回

- ・長崎大学病院(15回)
- ・長崎医療センター(6回)
- ・済生会長崎病院(1回)
- ・宮崎病院(1回)
- ・長崎百合野病院(1回)

②平成25年度の臓器提供・移植

・臓器提供情報21件が寄せられ、うち臓器提供3件(脳死下臓器提供2件、心停止後臓器提供1件)が実施され、県内で腎臓移植2件が実施された。

※脳死下臓器提供は2例とも15歳未満の小児からの臓器提供

(西日本地区初症例、および2症例目)

脳死下提供臓器:1例目 心臓・肺・肝臓・膵臓・腎臓・角膜

2例目 心臓・肝臓・膵臓・腎臓

心停止後臓器提供:腎臓・眼球

・他県より提供された肺が県内の移植施設において1件移植が実施された。

③その他の活動

1.腎臓移植推進協力病院の指定と移植情報担当者の設置・委嘱状の交付

・20病院に協力依頼を行った。

・それぞれの病院に移植情報担当者(医師1名以上、看護師1名以上)総数60名を設置し、県知事より委嘱状を交付した。

2.腎臓提供病院への表彰

・長崎県福祉保健部国保・健康増進課より平成24年度に臓器提供が実施された、長崎大学病院・佐世保市立総合病院に対してそれぞれ県知事表彰状を贈呈した。

3.臓器提供に伴う児童相談所における児童虐待情報等の取り扱いについて、「臓器移植に伴う児童相談所における児童虐待情報等の取扱いに関する指針」を定め、平成25年4月1日より指針運用を開始した。

4.県内の腎臓移植協力病院20施設へ臓器提供に関するアンケートを実施した。(回収率78%)

・普及啓発などの取り組み状況(ポスター掲示・チラシ配布等)について

・実態調査(死亡退院調査) 対象:平成24年8月～平成25年3月

5.県内の腎臓移植協力病院20施設へ臓器提供に関するアンケート結果を元に、病院長・担当診療科長等へ協力依頼の訪問を行った。

6. 県内の救急告示病院(協力病院を除く44施設)へ臓器移植アンケートを実施した。
7. 腎臓移植推進協力病院の移植情報担当者等2名を日本移植学会へ派遣した。
8. 腎臓移植推進協力病院の移植情報担当者等1名を大阪大学大学院重症臓器不全学講座
エクステンション講座へ派遣した。

④普及啓発物等の作成

腎臓移植推進協力病院等関係者に、県・病院として終末期患者家族に対して臓器提供の選択肢提示を行うことを周知するリーフレット(2,000枚)・ポスター(100枚)を作成・配布し協力依頼を行った。

⑤臓器移植コーディネーターの活動

1. 学会・会議・研修会等の出席
2. 病院訪問活動
 - ・腎臓移植推進協力病院(20病院)の訪問を定期的に行った。

(3)腎臓移植希望登録助成事業

腎臓移植希望者が公益社団法人日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料3万円のうち、当バンクへ申請した11人に対して各2万円、合計22万円を助成した。

(4)受託事業

上記のうち、長崎県からの受託事業として以下を実施した〔再掲〕

- ・臓器移植普及推進月間の街頭キャンペーン及び啓発物品の整備
 - ポケットティッシュ(10,000個)、ボールペン(1,000本)、ポケットノート(1,000冊)、のり(300個)、
卓上カレンダー(250枚)、終末期患者家族への選択肢提示に関するリーフレット(2,000枚)・ポ
スター(100枚)作成
- ・移植情報担当者等の日本移植学会への研修派遣

(4)腎臓移植・人工透析関係資料

(平成26年3月31日現在)

	旧長崎県腎臓バンク登録数 (腎臓提供登録数)		人工透析患者数		腎臓移植希望者数		献腎提供 情報数※	県内で提供 された腎臓数 (提供人数)	県内での 献腎移植数
	[現在登録終了]	増加数	全国 (年末)	長崎県 (年度末)	全国	長崎県			
平成元年度	(累計)2891	301	83,221	1,413	14,107	279		8(4)	8
平成2年度	3,814	923	103,296	1,556	16,925	239		11(6)	12
平成3年度	4,603	789	116,303	1,659	17,727	269		4(2)	6
平成4年度	5,530	927	123,926	1,776	19,143	284		0	5
平成5年度	6,226	696	134,298	1,871	20,562	274		4(2)	7
平成6年度	6,766	540	143,709	2,006	22,129	273		6(3)	14
平成7年度	7,216	450	154,413	2,081	15,057	263		1	0
平成8年度	7,703	487	167,192	2,132	14,987	182	6	2(1)	0
平成9年度	8,666	963	175,988	2,290	15,273	190	8	4(2)	0
平成10年度	8,915	249	185,322	2,451	13,291	193	3	2(1)	1
平成11年度	9,029	114	197,213	2,594	13,448	164	5	2(1)	4
平成12年度	9,068	39	206,134	2,833	13,206	170	0	0	0
平成13年度	9,106	38	219,183	3,003	13,013	165	5	0	0
平成14年度	9,106	新規登録終了	229,538	3,114	12,974	163	4	2(1)	2
平成15年度			237,710	3,203	12,468	167	10	9(5)	6
平成16年度			248,166	3,352	12,328	163	10	2(1)	2
平成17年度			257,765	3,487	12,095	151	10	8(4)	4
平成18年度			264,473	3,517	11,941	141	10	8(4)	5
平成19年度			275,242	3,677	12,025	151	6	4(2)	4
平成20年度			283,421	3,841	11,940	145	4	4(2)	4
平成21年度			290,661	3,894	12,010	139	7	6(3)	3
平成22年度			298,252	※3,859	12,201	148	9	4(2)	2
平成23年度			304,856	3,900	12,542	144	11	2(1)	3
平成24年度			309,946	3,945	12,767	148	15	6(3)	2
平成25年度				4,052	12,875	144	21	6(3)	2

※献腎提供情報数：県内の医療機関から腎臓提供の可能性があると連絡があった数

※平成22年度長崎県人工透析患者数は、過去の未報告者等(死亡等)の調整を行ったため減少